



112XT

COAXIAL
TECHNOLOGY

アプリケーション

L-ACOUSTICS 112XTラウドスピーカーシステムはデジタルプロセッサーでコントロールされる、分散配置SRなど、様々なアプリケーションに対応するシステムです。過酷なコンサートツアーや固定設備にも対応する112XTは、先進のコンポーネントと柔軟性の高いフライング・アクセサリーを装備し、L-Acousticsがデジタルプロセッサーのプリセットデータを供給していますので、システムの構築も簡単です。

112XTは、同軸の配列で12インチのLFユニットによって直接ロードされる1.4インチのエグジット・コンプレッションドライバーを持つ、アクティブ2ウェイラウドスピーカーシステムです。同軸スピーカーのメリットは下記の点です：一点から音が発せられるため、フェーズレスポンスが優れている。全ての周波数帯におけるトータルな波面の一貫性。そして水平面と垂直面で同一のカバレッジを生み出す線対称の指向性。また同軸設計は、従来のホーンとウーハーの組み合わせによく見られるポーラロビングの影響を受けずに、LF/HFのバラツキを整合する特性を実現します。その結果として、自然なスタジオモニターレベルのサウンドクオリティが得られます。ニアフィールドでの使用や、反響のある環境にもびったりです。

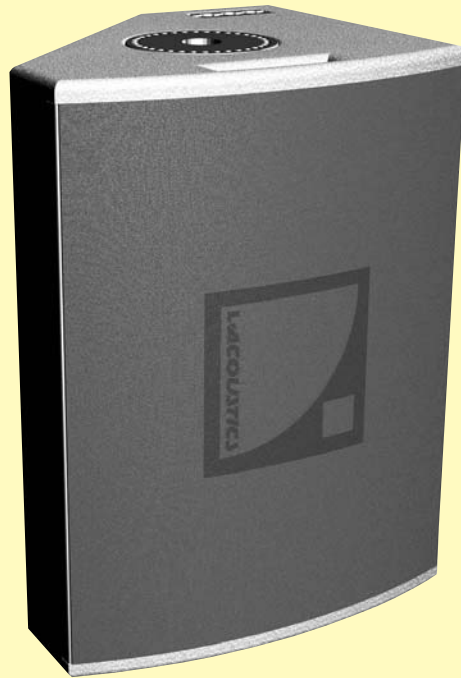
112XTは分散配置SRなど劇場、ライブハウス、多目的のライブ会場などのためのミディアムパワーFOH（フロント・オブ・ハウス）の使用に最適で、企業イベントにおける使用に対しても素晴らしい効果を発揮します。分散システムの例としては、大規模な設備のためのディレイスピーカー、劇場またはマルチメディア用のサラウンドエフェクトチャンネル、スポーツアリーナの分散配置SR、そしてコンベンションセンターでのスピーチのSRなどが挙げられます。112XTはシングルオペレーションが適当とされていますが、音圧やカバーエリアを広げるために、二つのエンクロージャーを組み合わせた縦型アレーを組むこともできます。

112XTはコンパクトなウェッジ型で線対称の指向性を持っているので、非常に優れたステージ・フロアモニターシステムにもなります。またSB118（または他のL-ACOUSTICSのサブウーハー）と一緒に使用すると、112XTはサイドフィールドやドラムモニタリングのアプリケーションに使用することができます。

認定デジタルプロセッサーにはL-Acousticsからプリセットデータが供給されており、2ウェイおよび3ウェイの様々なオペレーティングモードに対して柔軟なソリューションを提供することができます。オプションのリギングアクセサリーとしては設定角度の調整が可能なUブラケットと縦型カップリングアダプターがあります。

また、スピーカースタンド立てを可能にするボールマウントソケットと、フライトトラックが標準装備されています。

L-ACOUSTICS PROFESSIONAL SOUND SYSTEM



アクティブ・2ウェイシステム

同軸スピーカー(1.4" HF x 12" LF)

コンパクト・ハイパワー

分散型SRシステム

ステージフロアモニター

中規模メインシステム、ディレイラインシステム、フィルシステム

ツアーリングと固定設備、双方においても高い信頼性

フレキシブルに対応するフライング金具

認定デジタルプロセッサーにプリセットデータを供給

SPECIFICATIONS (仕様)

L-ACOUSTICS仕様は、公正な結果を導き現実的なパフォーマンスとシミュレーションを可能にする測定方法に基づいています。これらの仕様の一部は、他メーカーの仕様と比べると非常に控えめに見えるかもしれませんが、測定は全てフリーフィールドの条件下で行われており、特記が無い限り1mの参考距離を使用しております。

周波数特性

周波数特性	65 - 18kHz(±3dB) (FRONT preset)
使用可能帯域幅	55 - 18kHz(-10dB)

感度¹

LF (2.83 Vrms @1m)	98.5 dB SPL	65 - 1kHz
HF (2.83 Vrms @1m)	106 dB SPL	1 - 18kHz

入力²

LF 48 Vrms	290 Wrms	1160 W peak
HF 33 Vrms	135 Wrms	540 W peak

推奨アンプ出力 公称インピーダンス

580 W	8 Ω
540 W	8 Ω

指向特性(-6dB)³

水平/垂直	90° (±20°)
-------	------------

システム出力⁴

	音圧		
1本	122dB(rms)	128dB(peak)	FRONT preset
	124dB(rms)	130dB(peak)	FILL preset
	125dB(rms)	131dB(peak)	3W preset

フロントプリセットでは、フリーフィールドの条件下で3dBの高低域周波数のコンターを実現します。フィルプリセットではフリーフィールドの条件下で公称フラットなレスポンスを実現します。3Wプリセットでは100Hz帯域のハイパスフィルターが機能します。

ユニット構成

LF	1 × 12" 防滴処理(3" ヴォイスコイル)
HF	1 × 1.4" コンプレッションドライバー (チタニウムダイアフラム、3" ヴォイスコイル、同軸配置)

¹ コンポーネントの定格帯域に対する平均音圧測定

² コンポーネントに定格帯域幅で6dBのクレストファクターを持ったピンクノイズを使った場合の連続RMSパワーの定格表示

³ 1kHz~10kHz帯域に対する平均値

⁴ プリセットイコライザー、帯域レベル調整を行った1mでの連続出力音圧(アンウエイト)

エンクロージャー

・高さ	540mm
・フロント幅	410mm
・リア幅	165mm
・奥行き	375mm
・トランプ角	45° (縦方向)
・重量	27kg
・梱包時重量	30kg
・梱包時サイズ	615 × 470 × 465mm
・コネクター	2 × 4ピン

ノットリックスピコン (パラレル)
1 ± LF、2 ± HF

- ・材質 18、30mm カバ材多重積層合板
- ・塗装 マロングレー
- ・グリルスチール・黒色コーティング
- ・音透過性フォーム材
- ・フライング用ハードウェア、ハンドル、ボールマウントソケット内蔵

その他に必要な機材

- ・専用プリセットデータが記憶されているデジタルプロセッサー
- ・L-ACOUSTICS SB115, SB118, SB218, dv-SUB サブウーハー
- ・L-ACOUSTICS LA-17a か LA-24a パワーアンプ

Architect Specifications (構成)

このエンクロージャーは、アクティブ2ウェイ同軸のフルレンジラウドスピーカーで、12インチバスレフ低域ユニット1個から、直接放射される1.4インチのチタン合金製ダイアフラムを使用した、コンプレッションドライバー（ボイスコイルの直径は3インチ）1個で構成されています。フルレンジシステムとして周波数特性は65Hz ~ 18kHz (±3dB)・使用可能帯域幅は55Hzから18kHz (-10dB)です。

低域ユニットのコーンボディーがコンプレッションドライバーのパターンコントロールを行い、水平・垂直方向に線対称90度の円錐状に音を放出します。

低域ユニットと高域ドライバーの間のクロスオーバーポイントは1kHz (Linkwitz-Rileyの特性で24dBオクターブスロープ)、パワーハンドリングは8オームのインピーダンスでLFが290Wrms、HFが135Wrmsです。ラウドスピーカーとの接続には、ノイトリック社の4ピン・スピコン・コネクタが2個取り付けられており、それぞれパラレル接続されています。

エンクロージャーの前面は軽くカーブがかかった、背面の先端を切り取ったウェッジ型で、寸法は高さ54cm (21.3インチ)、エンクロージャーの前面の幅は41cm (16.1インチ)、エンクロージャーの背面の幅は16.5cm (6.5インチ)、奥行きは37.5cm (14.8インチ)。背面を下にして設置するとエンクロージャーのフロントパッドが縦の方向に45度の角度を取るため、このエンクロージャーはステージ・フロアモニターとして使用することができます。エンクロージャーの重量は27kg (59.5ポンド)です。キャビネットは18mm (0.70インチ)および30mm (1.18インチ)のバルト産カバの合板で、内部はスチールプレートで補強され、接合部はシール処理、スクリューとさねはぎで固定されています。仕上げにはマロングレイの弾力性のある塗料を使用。エンクロージャーのフロントは、厚さ1.5mm (0.06インチ)のブラックのパウダーコーティングを施したスチール製のグリルによって保護されており、さらにそのグリルは10mm (0.4インチ)の厚の、音を透過させるオープンセルフォーム材で覆われています。

エンクロージャーの両側面にはフライトラックのmountポイントがあり、直径36mm (1.42インチ)のボールマウントソケットが天面と底面にあります。ボールマウントソケットにUブラケットアクセサリを取り付ければ、エンクロージャーを横方向又は縦方向にリギングことができ、10度ごとに角度調整が可能です。2つのカップリング・アダプターバーをUブラケットと一緒に使用すれば2つのエンクロージャーを縦方向にフライングすることができ、各エンクロージャーの角度を個別に調整できます。リフトバー・アクセサリはどちらか一方のボールマウントソケットに取り付け、フライング用に5つのアタッチメントポイントを選択できます。

ラウドスピーカーはアクティブ2ウェイまたは3ウェイのオペレーションを行うために、L-Acousticsから供給されているプリセットデーターがインストールされた、認定デジタルプロセッサーと、サブウーハーエンクロージャーと共に使用します。

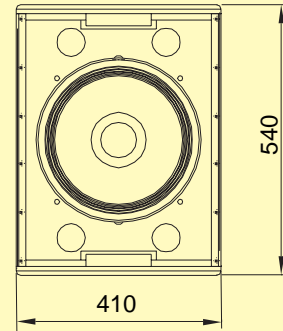
Accessories (アクセサリ)

ETR112XT: 112XTを横方向または縦方向に天井、壁、トラスにmountするための調整可能なUブラケット。

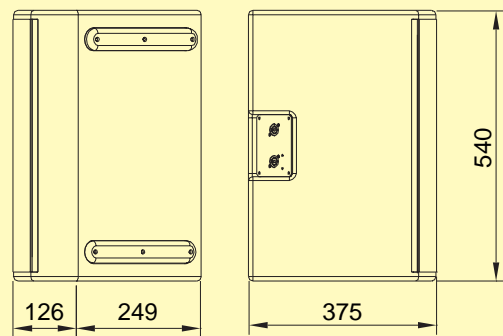
CPL112XT: ETR112XTと一緒に使用して2台の112XTを縦型アレーに組み、それぞれを別個に角度調整するためのカップリング・アダプターバー。

XTLIFTBAR: 112XTのシングルポイントリギングを可能にし、角度調整には5つのピックポイントから選択する。

PION2: ダブルスタッドのリング付き Aeroquip フィッティング。(側面のフライトラックポイントに使用する)

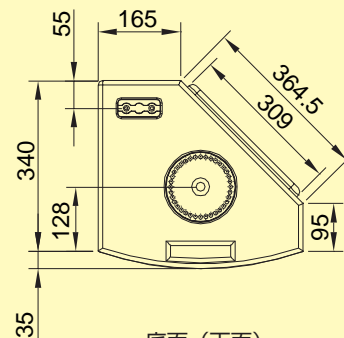


前面

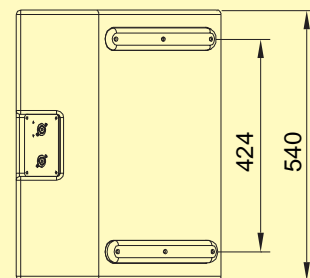


左側面

右側面



底面 (天面)



背面

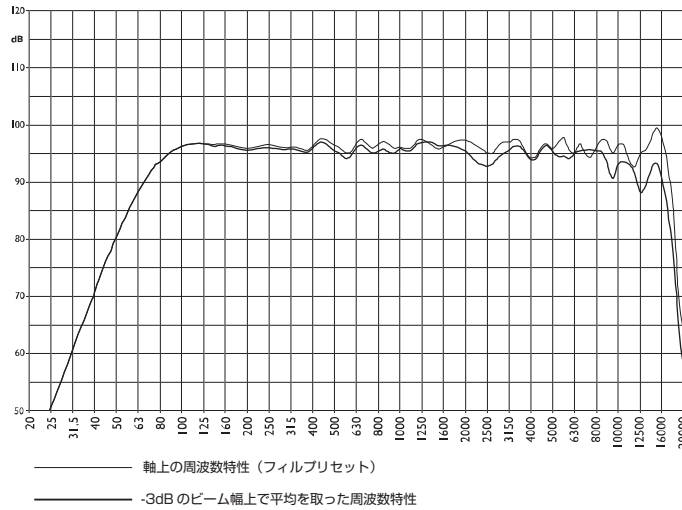
SCALE 1 : 15 SIZE mm



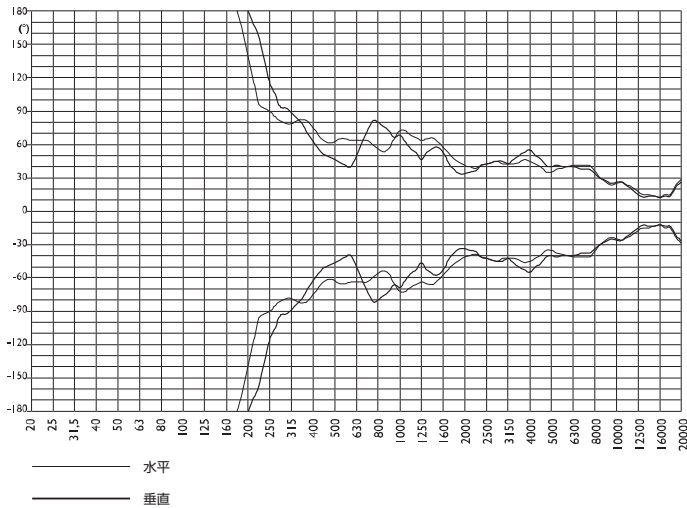
112XT

PERFORMANCE
DATA

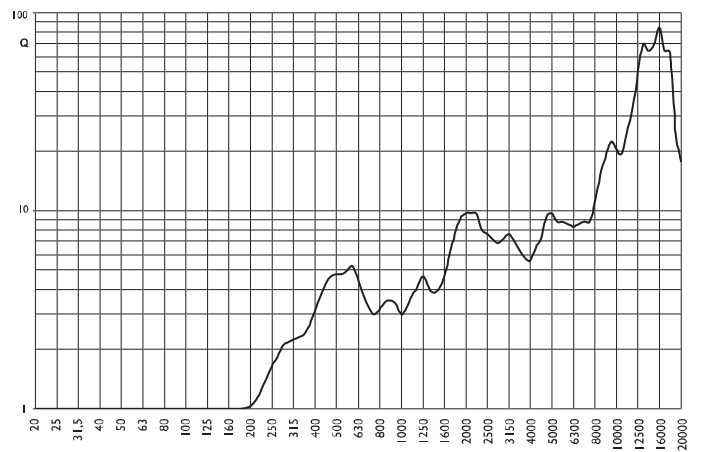
周波数特性



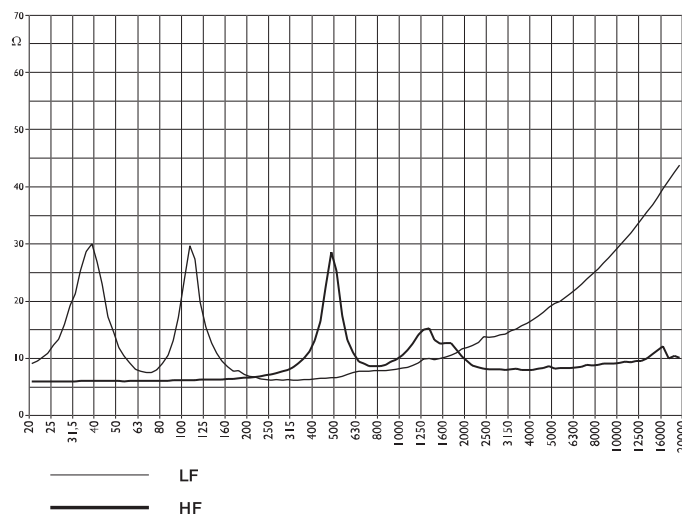
ビーム幅 (-6dB)



指向性ファクターQ



インピーダンス





L-Acoustics から供給されるプリセットデータ

2 ウェイオペレーションのために 3 種類のプリセットが用意されています：
FRONTプリセットは低域および高域のシェルピングイコライジングによって音楽のアプリケーションに適した周波数特性コンターが生成される場合の、スタンドアロンのFOHオペレーション（サブウーハーなし）用です。FILLプリセットはスピーチのSRやクラシック音楽のアプリケーション、または112XTどうしが隣接する場合に公称フラットなレスポンスを実現します。FRONTとFILLのプリセットはどちらもフリーフィールドの測定条件を基本に考えられています。MONITORプリセットはハーフスペースのローディング条件を補うための低域イコライジングを施しており、フロアモニタリングアプリケーションまたは112XTが壁か天井にマウントされている場合の固定設備を想定しています。

112XTをSB115、SB118、SB218、dV-SUBといったサブウーハーと一緒に使用する場合のために様々な3ウェイプリセットが用意されています。標準の3ウェイプリセットは112XTと一緒に使用するサブウーハー用に100Hzのクロスオーバーポイントを使用しており、サブウーハーと近い位置でセッティングする場合にお勧めします。そして112XTをフライングし、サブウーハーを床からスタッキングしている場合は、サブウーハーには80Hzのローパスフィルターがかかり、112XTの低域周波数特性を55Hzまで広げている、3WXのプリセットを使用することをお勧めします。

仕様・規格・外観は予告なく変更することがあります。2003/01 現在